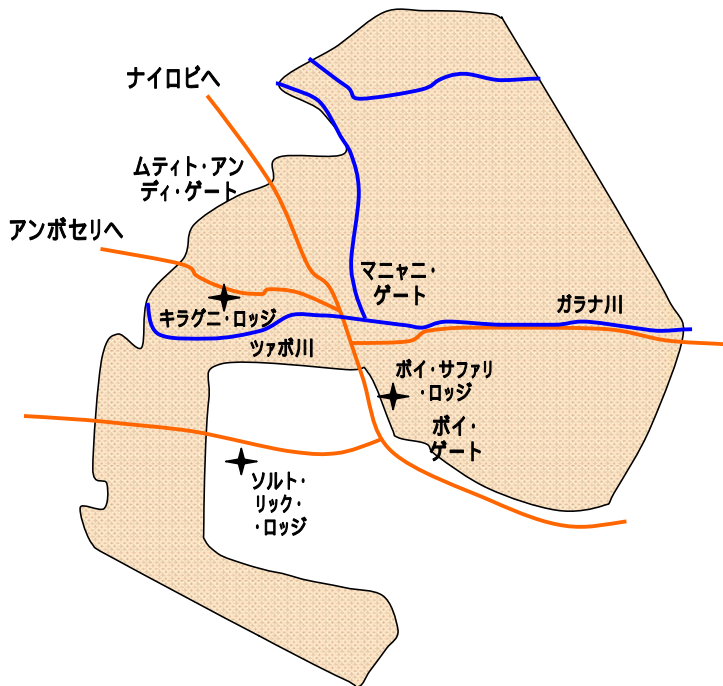


ツァボ国立公園



主な動物
 ライオン、チーター、レッサークドゥ、フサミオリックス、ゲレヌク、グラントシマウマ、マサイキリン、カバ、イボイノシシ、キルクディクディク、インバラ、コモノオーターバック、バッファロー、サバンナモンキー、コウノトリなど

ナイロビから約350Km(ボーイゲートまで)、陸路で約5時間。ツァボ・イーストとツァボ・ウエスの二つに分けられている。面積は二つ合わせると日本の四国より広いと言われている。広大なだけに、素晴らしい自然に恵まれ、草原やブッシュ地帯はもちろんのこと、丘、岩山、火山岩地、川、湧き水など、変化に富んだ景観が楽しめる。
 この公園のゾウは、赤土を浴びるので体が赤く「赤ゾウ」と呼ばれている。その他にも、ライオン、ヒョウ、ワニ、カバ、ウォーターバック、ゲレヌク、ディクディクなどが見られる。ツァボ・ウエスト国立公園、キラグニ・ロッジから南西へ約12Kmのところにあるムジマ・スプリングスでは、水中にガラス張りの展望台が作られ、そこからカバや魚の泳ぐ姿が見られることで有名。
 動物の他にも、1.5Kmの細長い小高い岩場のムダンダ・ロック、流れに侵食され丸みを帯びた岩の連なりが不思議なルガルド滝、またヤツタ崖など見所も多い。



= ロッジ =
 キラグニ・ロッジ

名門ロッジの一つに数えられる。ムテイトゲートから約40Km。ナイロビから陸路で約3.5時間。屋根が高く視界の開けたダイニング、バーの前方には水場が作ってあり、動物たちを眺めながら食事を楽しむことができる。またテラスでは、他ではあまり見られないシベット・キャット、ジネット・キャット、シマハイエナなどの夜行性動物なども見られる事が有る。

ボーイ・サファリ・ロッジ

ボーイゲートから約20分。このロッジの展望台からの眺めは雄大で、さすがアフリカ、という印象を受ける。また眼下にあるロッジの裏手の水場には、ゾウをはじめ、バッファロー、イボイノシシ、オリックス、インバラ、ヒヒなどが訪れる。



フィンチ・ハットズ

チュール丘陵のふもとに位置し、カバのいる湧水地を囲む形で35のテントを配しているテント・ロッジ。また、敷地内にはダイニングルーム、ラウンジ、バー、プールなど完備されている。



アシュニールアルバ ツアボイースト公園、ボイ川近くにあるロッジです。総客室数40部屋の洗練された宿泊施設です。

